



ムシ歯の原因

ムシ歯の病因には「細菌（ミュータンス菌）」「歯の質」「糖質」の3つの要素があり、この3つの要素が重なったときに、時間の経過とともにムシ歯が発生します。3つの要素、1つあるいは2つの要素だけでムシ歯が発生することはありません。

- 歯はどんな成分でできているの？
- 丈夫な歯を育てるための栄養素



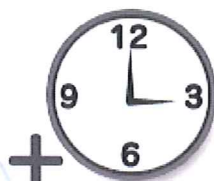
歯の質

糖質
(とくに砂糖)



ムシ歯

細菌
(ミュータンス菌)



時間の経過

- 食事、間食とムシ歯の関係
- ムシ歯になりにくい甘味料

- ミュータンス菌の特徴

細菌(ミュータンス菌)

プラーク(歯垢)は食べカスではなく、歯の表面にネバネバとこびりついている細菌のかたまりです。プラーク1mg(耳掻き1杯程度)中には2~3億個もの細菌が棲み、その種類は350種以上といわれています。その中で、特にムシ歯の原因となるのがミュータンス菌です。

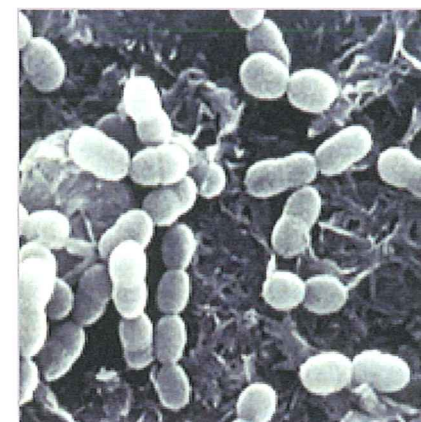
■ミュータンス菌の特徴

◆ミュータンス菌は約1μmくらいの球状の菌で、鎖のようにつながっています。

※1μm=1/1000mm

◆ミュータンス菌は、砂糖からデキストラン(グルカン)をつくりプラークを形成します。デキストランはネバネバした多糖体で水にとけません。そのため、歯に強固にくっきます。

◆ミュータンス菌は、糖質から酸を作り、歯を溶かします。



『ミュータンス菌の拡大写真』

医療法人メディカルフォース

フォース歯科

〒007-0813

札幌市東区東苗穂 13条1丁目2-1

フリーダイヤル: 0120-130-554

<http://www2.snowman.ne.jp>

■診療時間■

月~金曜日 10:00~19:00

土曜日(第1.3.5) 10:00~16:00

休診日: 土曜日(第2.4)・日曜日・祝祭日

